

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 17日

石川県知事

殿

提出者

住 所 石川県加賀市小坂町口25番地

氏 名 有限会社 前田重機建設

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

代表取締役 前田 隆盛

電話番号 0761-76-2791

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|---------------|---------------------|
| 事 業 場 の 名 称 | 有限会社 前田重機建設 |
| 事 業 場 の 所 在 地 | 石川県加賀市小坂町口25番地 |
| 計 画 期 間 | 令和7年4月1日から令和8年3月31日 |

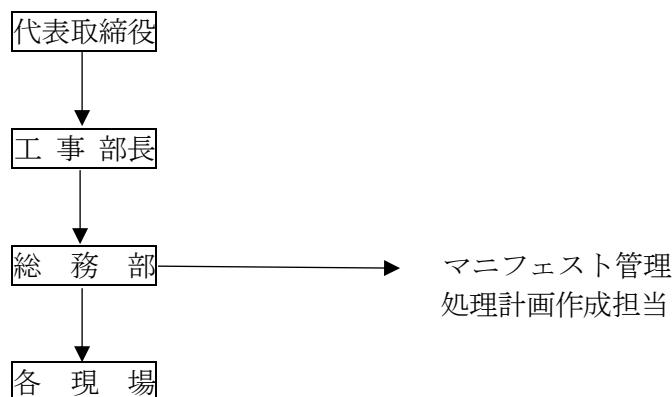
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

| | |
|------------------|---|
| ① 事 業 の 種 類 | 06 総合工事業 |
| ② 事 業 の 規 模 | 令和5年度 元請完成工事高 63,305,000 円 |
| ③ 従 業 員 数 | 12 人 |
| ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 | <ul style="list-style-type: none">・がれき類→再生処理業者に委託して、再生碎石として再資源化・木くず→再生処理業者に委託して、木材チップとして再資源化・廃プラスチック類→全処理委託（焼却）・ガラス・陶磁器くず→委託処理→再生資源化・その他再生不能物→委託処理→埋立 |

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| ① 現状 | 【前年度（令和6年度）実績】 | | |
|---------------|----------------|--------|--|
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 排出量 | t | t |
| (これまでに実施した取組) | | | ・排出量の総量は、受注した工事総量および内容によって左右される為、概数であるが、細かく分別を行うことで減量化を図る。 |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 排出量 | t | t |
| (今後実施する予定の取組) | | | 従前とおりしながらも、乾燥による減量化を目指す |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|--|
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・各現場での分別を徹底する。 ・特に石綿含有産業廃棄物の取り扱いについては、他の廃棄物が混入しないよう分別、管理の徹底を実施。 |

| | |
|-----|---|
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・従前とおりに実施しながらも、混合廃棄物を可能な限り分別し、再生可能物を増やす。 |
|-----|---|

(第3面)

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|----------------------|--------------------------|---|---|
| ① 現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| ②計画 | 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 | t | t |
| ②計画 | (これまでに実施した取組) 特になし | | |
| | 【目標】 | | |
| ① 現状 | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 | t | t |
| ②計画 | (今後実施する予定の取組) ・実施予定なし | | |
| | | | |

| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
|----------------------|--------------------------|---|---|
| ① 現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| ②計画 | 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 | t | t |
| ②計画 | (これまでに実施した取組) 特になし | | |
| | 【目標】 | | |
| ① 現状 | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 | t | t |
| ②計画 | 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 | t | t |

| | |
|--|---------------|
| | (今後実施する予定の取組) |
|--|---------------|

(第4面)

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| ① 現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) ・特になし | | |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) ・実施予定なし | | |

| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
|-------------------|-----------------------------------|-------------|---|
| ① 現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 全処理委託量 | 2735.7906 t | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t |

| | |
|--|---|
| | (これまでに実施した取組) ・処分業者を選定時に再生利用業者を優先して委託する。 |
|--|---|

(第5面)

| ②計画 | 【目標】 | | |
|--------|--|--------|---|
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t |
| ※事務処理欄 | (今後実施する予定の取組) ・現状を引き続き行う。 ・電子マニフェストを積極的に利用し、確実な管理を徹底する | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | 排出量（t） |
|------------|---------|
| ガレキ (COガラ) | 764.336 |
| ガレキ (ASガラ) | 29.02 |
| その他ガレキ | 68.774 |
| ガラス・陶磁器くず | 31.13 |
| 廃プラ | 25.965 |
| 金属くず | 26.478 |
| 紙くず | 0.63 |
| 木くず | 394.39 |
| 繊維くず | 5.876 |
| 石膏ボード | 46.64 |
| 安定型混合物 | 2.402 |
| 管理型混合物 | 9.158 |
| 石綿その他ガレキ | 3.94 |
| 石綿ガラ・陶 | 2.31 |
| 石綿廃プラ | 0.675 |
| 水銀灯 | 0 |

【今年度（令和7年度）計画】

| 産業廃棄物の種類 | 排出量（t） |
|------------|--------|
| ガレキ (COガラ) | 600.00 |
| ガレキ (ASガラ) | 15.00 |
| その他ガレキ | 53.00 |
| ガラス・陶磁器くず | 31.00 |
| 廃プラ | 24.50 |
| 金属くず | 26.00 |
| 紙くず | 0.30 |
| 木くず | 370.00 |
| 繊維くず | 6.00 |
| 石膏ボード | 35.00 |
| 安定型混合物 | 1.10 |
| 管理型混合物 | 3.00 |
| 石綿その他ガレキ | 3.50 |
| 石綿ガラ・陶 | 2.10 |
| 石綿廃プラ | 0.50 |
| 水銀灯 | 0.0100 |

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度（令和6年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | 排出量（t） |
|------------|---------|
| ガレキ (COガラ) | 764.336 |
| ガレキ (ASガラ) | 29.02 |
| その他ガレキ | 68.774 |
| ガラス・陶磁器くず | 31.13 |
| 廃プラ | 25.965 |
| 金属くず | 26.478 |
| 紙くず | 0.63 |
| 木くず | 394.39 |
| 繊維くず | 5.876 |
| 石膏ボード | 46.64 |
| 安定型混合物 | 2.402 |
| 管理型混合物 | 9.158 |
| 石綿その他ガレキ | 3.94 |
| 石綿ガラ・陶 | 2.31 |
| 石綿廃プラ | 0.675 |
| 水銀灯 | 0 |

②計画【（令和7年度）目標】

| 産業廃棄物の種類 | 排出量（t） |
|------------|--------|
| ガレキ (COガラ) | 600.00 |
| ガレキ (ASガラ) | 15.00 |
| その他ガレキ | 53.00 |
| ガラス・陶磁器くず | 31.00 |
| 廃プラ | 24.50 |
| 金属くず | 26.00 |
| 紙くず | 0.30 |
| 木くず | 370.00 |
| 繊維くず | 6.00 |
| 石膏ボード | 35.00 |
| 安定型混合物 | 1.10 |
| 管理型混合物 | 3.00 |
| 石綿その他ガレキ | 3.50 |
| 石綿ガラ・陶 | 2.10 |
| 石綿廃プラ | 0.50 |
| 水銀灯 | 0.0100 |